

九州北部豪雨におけるTEC-FORCE活動について 国土交通省

○平成29年7月の「九州北部災害」の発生を受け、木曽川下流河川事務所の職員等(延べ6名)が平成29年7月11日～17日の7日間、現地の被災状況調査班として派遣され、調査報告書をとりまとめて添田町に報告後、無事に帰還



出発の様子(はNHKニュースで延べ4回放送(名古屋・津放送局))



被災状況調査の様子



被災状況調査結果の報告書をとりまとめて添田町に報告

木曽川下流河川事務所班 TEC-FORCE活動行程

7月11日	事務所出発、九州技術事務所にて作業確認の打合せ
7月12～15日	現地調査(添田町管理)(駒啼川・長谷川・深倉川)
7月16日	添田町に被災状況調査結果の報告書を提出、作業の引継ぎ、TEC-FORCE隊員が帰還
7月17日	TEC-FORCE車両が事務所へ帰還

○大規模水害時においても犠牲者ゼロとなることを目指し、地域住民の防災意識向上や広域避難などのあり方について、関係首長が公開ディスカッション

○伊勢湾台風時の首長自身の当時の体験談、犠牲者ゼロを目指すには早めの避難行動が重要であること、防災意識の低い住民の意識をいかに高めていくかが重要などといった活発な意見を交換

日 時 : 平成29年6月3日(土)14:00~16:00
 場 場 : NTNシテイホール(桑名市民会館)
 出 席 : 桑名市長、木曾岬町長、海津市長、弥富市長、愛西市長、津島市長、蟹江町長、飛島村長
 アドバイザー : 片田敏孝 東京大学大学院情報学環特任教授
 コーディネーター: 木曾川下流河川事務所長
 来場者 : 約300人



公開ディスカッションの様子



片田敏孝 左より、加藤木曾岬町長、服部 弥富市長、横江蟹江町長、久野 飛島村長

東大特任教授 左より、伊藤桑名市長、松永海津市長、日永愛西市長、日比津島市長

会場でのパネル展示

国営木曾三川公園センター開園30周年について



- 13拠点ある国営木曾三川公園のうち、木曾三川公園センターは昭和62年10月31日に開園し、今年で30周年を迎えることを記念して式典を開催
- 保育園児による太鼓等、公園功労者の表彰、バルーンアート等を実施

- ◆日時：平成29年10月7日(土)13:00～14:00
- ◆場所：国営木曾三川公園 木曾三川公園センター
- ◆参加機関：中部地方整備局、海津市、桑名市、愛西市、弥富市、木曾岬町
- ◆式典参加者：約200名(招待者19名、表彰団体17名、一般約160名)、当日公園来園者数約4,000人

～ 来賓からの祝辞 ～



渡辺 猛之
参議院議員



大野 泰正
参議院議員



松永海津市長



伊藤桑名市長



日永愛西市市長



塚原浩一 中部地方整備局長 挨拶



わかば海津北こども園園児の太鼓演奏



飯野事務所長による
30年間の事業報告



公園功労者の表彰



職員によるバルーン
アートのプレゼント

国土交通省 国士交通省 明治改修工130周年記念シンポジウムについて

○明治時代に、木曾三川の乱流を制するためにヨハニス・デ・レイケが計画した改修計画を振り返り、明治改修の歴史を学ぶための記念シンポジウム「デ・レイケと輪中人と、私たち」を開催

- ◆日時：平成29年11月4日(土)13:00～15:00
- ◆場所：海津市文化センター(入場無料)
- ◆参加機関：木曾川下流河川事務所、海津市、愛西市、
 弥富市、蟹江町、桑名市、木曾岬町、大垣市
- ◆式典参加者：約500名

パネルディスカッションの様子(右より)久保田稔氏、なみ悟朗氏、丸山幸太郎氏、飯野事務所長



地元児童で結成された「かいづっち合唱団」によるオープニング



パネル展示、明治改修計画平面図の特別展示の様子

～ 開会挨拶 ～



松永 海津市長



飯野 事務所長



海津市民による創作劇「三川分流物語」～デ・レイケと輪中人(わじゅうびと)～の上演